

唐松岳～五竜岳縦走

2017.7.19～20 単独行

今年の登山計画の一つある唐松岳～五竜岳縦走登山に天気予報を見て行って来ました。唐松小屋～五竜岳間を歩きたい、何故この区間かと言うとかなり昔に登山仲間と扇沢～爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳～キレット小屋（泊）～五竜岳～唐松岳頂上宿舎～八方尾根～八方部落と1泊2日で縦走しました。初日は早朝から、2日目は小屋を夜中に出てヘッドランプで歩き五竜岳山頂で日の出を見た事を覚えています。以降唐松小屋までの間の記憶が全くありません。何故その区間が気になるかと言うと、毎年のように大黒岳付近で滑落事故等があり、又最近テレビでそこを通過する五竜岳登山の番組を幾つか見てどうしても歩きたいと思ったからです。

7/19（水）晴れ 自宅 5：10～5：50 エスカルプラザP（車を置いて、自転車）6：10～6：35 八方第三P（自転車置いて）6：40～6：55 ゴンドラ乗り場 7：00～7：35 八方池山荘～8：35 八方池～10：10 丸山ケルン 10：20～11：15 唐松岳頂上宿舎（唐松岳往復、昼食）12：20～15：00 五竜山荘（泊）

7/20（木）晴れ 4：30～5：30 五竜岳（3回目の登頂）6：10～6：45 五竜山荘（朝食）7：40～9：25 大遠見 9：30～（高山植物園経由）12：00 テレキャビン乗り場～昼食・自転車回収・入浴

～14：20 帰宅。

このコース設定で一番の課題はゴンドラ間の足の問題である、折り畳み式の自転車利用にする。神城駅まで歩いてJRで白馬駅に向かう登山者を2人見かけた。今年は天候不順で観光客の出足が悪いようで無料の白馬の駐車場も空いている。7時の始発のゴンドラに乗車する。朝から気温が上がってTシャツで。さすがに人気の八方尾根だけあってハイカー・登山者を見かける。北海道旅行などで1ヶ月振りの登山の小生の足が重いし、息も上がる。こんな体調で10KG近い重さのザックを背負って縦走出来るのか？そんな不安を抱えながら登る。花が多いが気が乗らない。まあ毎日日曜日の身なので唐松小屋で1泊追加でも良いと言う安心感もある。八方ケルン付近から足も慣れて来たのか順調に歩けるようになった。



←八方池

丸山ケルン手前の登山道に雪溪が2箇所残っているが、この暑さなら月末までには融けてしま

うだろう。長野市松代中学校の学校登山の一团が下って来る。運動着には「六文銭」のマークが入っているのですぐ松代と分った。懐かしい唐松岳頂上宿舎に予定より早く到着したし、

唐松小屋からの唐松岳



体調も良いので唐松岳を往復する。山頂から不帰のキレットを見下ろす。天狗山荘は多雪で傾いてしまい今年度は休業である。又祖母谷温泉コースも雪が多く残っていてまだ整備がされず通行止めになっている。



←唐松岳山頂

いよいよ五竜岳への登山道へ入る。すぐに「牛首」と言う鎖の連続する足場の悪い登山道

になる。地図上の大黒岳越えである。鎖が沢山設置されているしそんなに危険とは感じなかったが「遭難多発区間」である。



←牛首の難所

以前歩いた祖母谷温泉へのルートがハッキリ見える。懐かしい。メッキリ登山者が少なくなって五竜岳山荘までにすれ違ったのは10組以下だった。このコースから見る五竜岳は物凄く雄大に大きくそびえている。さすが日本百

名山だと痛感する。

横長の五竜岳は初めて



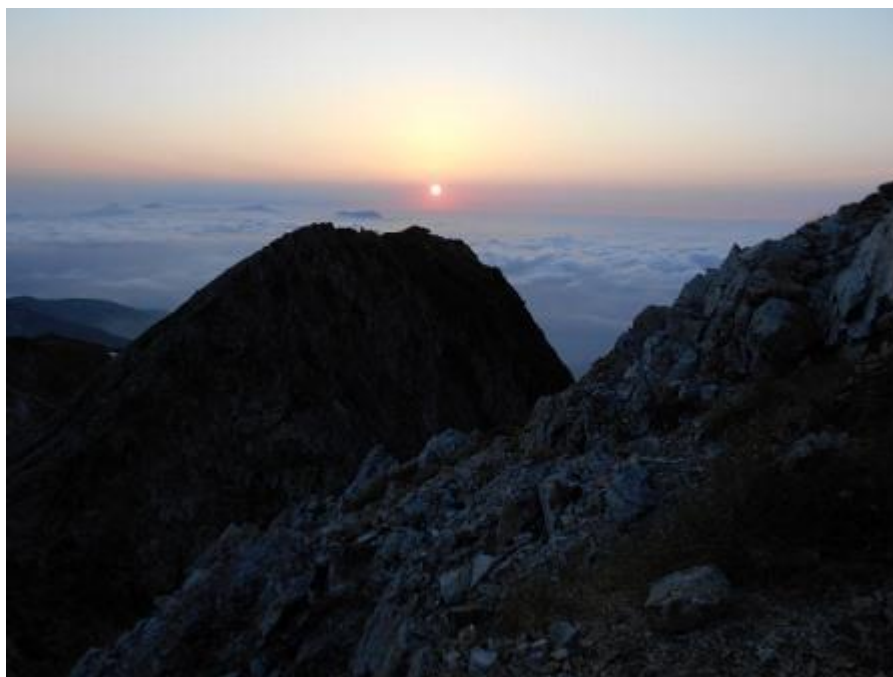
五竜山荘と五竜岳



大町市付近から見るととても貧弱な山容であるが。整備された気持ちの良い登山道を進む。高山植物も点在するし、コマクサも2箇所で見れていた。それにしても標高が高い所なのに暑い、汗が次から次と出てくる。長袖シャツを着ないと腕が日焼けしてヒリヒリしてはいけないと思い長袖シャツを我慢して着る事にする。予定より1時間早い15時に小屋へ着く。この時期としては不思議なほど小屋が空いていて泊り客は12人ほどしかいない。テントも二張りのみ。早速外のベンチで缶ビール 500ML 2本頂く。上は五竜岳、下は大きな雪渓を眺めながら。18時には就寝する。

20日は4:30に小屋を出て五竜岳登山。小屋から山頂までの時間がかかるコースで所要1時間である。常念岳や針ノ木岳と同じだ。山頂一番乗りかと思っていたら山頂手前で単独が下山してきた。

日の出



立山・劔岳をバックに



山頂からの展望が好天で素晴らしい。薬師～立山～劔～毛勝三山～唐松岳～白馬三山～雨飾山等々 360度の大展望を楽しむ。今年で北アルプス登山も終わりにしようと思っているので（体力的に）最後の見納めだ。昨日歩いてきたルートを眺める。40分間展望を楽

しんで下山する。小屋へ着くころには又暑くなってきた。

五竜岳を振り返る



自炊室で朝食とコーヒーを飲んで遠見尾根を下山開始する。大きな雪渓が登山道脇にある。カクネ里で近いうちに剣澤などと同じように「氷河」認定されるであろう。登山道脇にはショウジョウバカマ・ゴゼンタチバナ等初期の花からニッコウキスゲ・ウサギギク・ミヤマダイコンソウ・シナノキンバイ等まで咲いている。暑くて汗が出る悪条件ではあるが展望や花に癒されて下る。



←遠見尾根で

大遠見付近からテレキャビンで上がって来た登山者とチラホラすれ違う。今朝は珍しく筋肉痛無だったが、

矢張り下りは膝に来る。高山植物園は沢山のコマクサやイブキジャコウソウなど見事に高山植物が多種類に渡って咲いている。規模は大きいし、見応えがある。青いケシの花まで咲いている。沢山の観光客で賑わっているが何時もなら涼しいのにこの暑さが気になる。エスカルプラザの駐車場には沢山の観光バスが駐車している。最近夏場の観光地として「高山植物園」が脚光を浴びているのだ。自転車を回収し、信州物見湯産手形で樅の木ホテルの庄兵衛の湯で汗を流す。大量の汗をかいたのでサッパリして気持ちが良い。

白馬樅の木ホテルで入浴



暑かったが天候に恵まれて良い山行になった。なお今回は長野県自然保護レンジャーのパトロールを兼ねました。ゴミはほとんど捨てられていなかった、モラルが向上して来ました。

赤沼 健治